

特集 ICUで遭遇する 免疫異常

(責任編集)

大路 剛

神戸大学病院 感染症内科

萩野 昇

帝京大学ちば総合医療センター
第三内科学講座 (血液・リウマチ)

牧野 淳

東京都立墨東病院 集中治療科

INTENSIVIST

インテシヴィスト

Vol. 15 No. 4
2023

JSEPTIC

Japanese Society
of Education for
Physicians and
Trainees in
Intensive Care

注意

本誌に携わった全員が、本誌に示す情報が正確で、実臨床を反映したものであるよう極力努力した。しかしながら、編者ならびに出版社は、本誌の情報を生じた結果生じたいかなる不都合に対しても責任を負うものではない。薬物の使用にあたっては、個々の薬物の添付文書を参照し、適応、用量、付加された注意・警告に関する変化を常に確認されたい。

1. はじめに：免疫異常を理解し、今後の実臨床へつなげる……………551

牧野 淳 東京都立墨東病院 集中治療科

Part 1：総論 集中治療医が知っておきたい臨床免疫学

2. 正常な免疫機能：自然免疫、獲得免疫の基本的な役割と機能……………553

小野 聡 新久喜総合病院 消化器センター / 東京医科大学八王子医療センター 特定集中治療部

3. 異常な免疫応答：SIRS, CARS, MAS について……………561

矢野 裕之・金城 光代 沖縄県立中部病院 リウマチ・膠原病科

4. persistent inflammation, immunosuppression, and catabolism syndrome の免疫学：PIICS の特徴と免疫療法、そして栄養療法について……………581

井上 茂亮 和歌山県立医科大学医学部 救急・集中治療医学講座

5. 後天性免疫不全の分類と評価 ①集中治療医の視点：いつ疑い、どのように評価するか……………589

大野 博司 洛和会音羽病院 ICU/CCU

6. 後天性免疫不全の分類と評価 ②感染症医の視点：薬物を知り、その特有の感染症リスクを考えよ……………607

本田 仁 藤田医科大学 微生物学講座・感染症科

Part 2：ICUで遭遇する免疫異常の代表的疾患

7. 敗血症の免疫学：免疫麻痺の理解と免疫療法、今後の課題……………617

渡邊 栄三 愛知医科大学医学部 救急集中治療医学講座

【コラム】〔Pros/Cons〕敗血症に対するサイトカイン除去療法は有効か？：

Pro：有効である……………626

服部 憲幸 千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学

【コラム】〔Pros/Cons〕敗血症に対するサイトカイン除去療法は有効か？：

Con：有効ではない……………632

岩崎 夢大 東北大学大学院医学系研究科 麻酔科学・周術期医学分野

8. COVID-19 の免疫学：

SARS-CoV-2 と免疫に関して現時点でわかっていること……………637

古谷 賢人 静岡県立総合病院 臨床検査科/感染対策部感染対策室

伊東 直哉 愛知県がんセンター 感染症内科部/感染対策部感染対策室

9. ARDS の免疫学：免疫学的な病態生理から考える今後の薬物治療……………651

片岡 惇 練馬光が丘病院 総合救急診療科 集中治療部門

【コラム】大動脈解離でみられる ARDS の病態生理：

低酸素血症で ARDS と診断できるのか？……………664

八重樫 悠 東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科

則末 泰博 東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科/呼吸器内科

10. 外傷後の免疫学：SIRS と CARS, そして PIICS……………673

大須賀 章倫 JCHO 中京病院 救急科

11. HIV 感染症でみられる IRIS：想定しておけば慌てずにすむ……………685

塚田 訓久 国立病院機構東埼玉病院 臨床研究部

12. 免疫再構築症候群 (IRIS) の免疫学：

non-HIV 患者でみられる IRIS：その多様な病態の臨床的特徴……………691

牧野 淳

13. 自己免疫疾患の免疫学：

重症膠原病のマネジメントに必要な臨床免疫学……………699

鈴木 翔太郎 聖マリアンナ医科大学 リウマチ・膠原病・アレルギー内科

萩野 昇 帝京大学ちば総合医療センター 第三内科学講座 (リウマチ)

Part 3 : 免疫不全・過剰に対する治療戦略

14. 免疫異常に対する治療戦略 :

免疫抑制治療の有害事象と使用時の注意点……………721

杉森 祐介 東京都立墨東病院 リウマチ膠原病科

【コラム】 GBS に対する IVIg vs. 血漿浄化療法 :

GBS の機序とそれに対する IVIg や血漿浄化療法が有効である理由……………738

吉野 俊平 飯塚病院 集中治療科

15. 免疫関連有害事象 (irAE) :

新種のオンコロジック・エマージェンシーに、ICU で適切かつ果敢に立ち向かうために……………743

峯村 信嘉 三井記念病院 総合内科

16. 免疫不全に対する予防的抗微生物薬 :

各疾患における投与の位置づけとその実践……………759

田中 健之 長崎大学病院 感染制御教育センター

泉川 公一 長崎大学病院 感染制御教育センター/長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 臨床感染症学分野

連載

■ え？知らないの？電気メスの使い方……………772

〈シリーズ構成：上岡 晃一 東京医科大学病院 臨床工学部〉

佐々木 慎理 川崎医科大学附属病院 ME センター/川崎医療福祉大学医療技術学部 臨床工学科

■ 最新エビデンスを読む

第9回：ESICM ARDS ガイドライン……………776

小中 理大・片岡 惇 練馬光が丘病院 総合救急診療科 集中治療部門

■ 集中治療に関する最新厳選 20 論文……………784

田邊 翔太 松江赤十字病院 救急部

吉田 英樹 聖マリアンナ医科大学 救急医学

■ 倫理規定……………771

■ 次号予告……………791